

桂川町スポーツ推進委員会

～話題の人・団体～

地域に根差した活動で 「スポーツを楽しむ」を推進

ニュースポーツの普及や「ときめきウォーク in けいせん」を主催し、スポーツの推進活動を行っている桂川町スポーツ推進委員会。昨年、優良団体として表彰もされた桂川町のスポーツ推進への思いを、三宅利夫会長に伺った。

桂川町スポーツ推進委員会 委員



▲昨年11月12日に愛媛県武道館で開催された「第56回全国スポーツ推進委員研究協議会」で、桂川町スポーツ推進委員会は優良団体表彰を受賞しました。



▲ときめきウォーク in けいせん。土師二区ソフトボールによる休憩所や桂川町婦人会によるゴール後の食事の振る舞いなど、参加者・スタッフ同士のふれ合いの場にもなっています。

桂川町スポーツ推進委員会（以下「委員会」）は、平成23年12月に前身の桂川町体育指導委員会の名称が変更される形で発足。スポーツの推進や実技の指導、助言などを目的とした団体で、平成14年の桂川町グラウンド・ゴルフ場の開設にも関わった。現在、10人の委員で活動している。

会長の三宅利夫さんは、平成7年に委員となり、平成21年から会長を務め、現在は筑豊地区スポーツ推進委員協議会の会長も兼ねる。「町民の方々に少しでも楽しみながらスポーツをやっていたら、という思いで活動しています」と活動に対する思いを話す。

■ **誰でも楽しめる「ニュースポーツ」の普及**

委員会では、ニュースポーツの普及を積極的に行っている。ニュースポーツとは、誰でも参加できることを目的とした新しいスポーツの総称。毎年1回のペタンク普及イベントの開催や、依頼があれば各団体への指導を行っている。

ペタンクのほか、アジャタや卓球バレー、カローリング、風船バレーを中心としたニュースポーツの普及を実践している。

■ **子どもの運動嫌いを克服**

平成23年度から実施している「わくわくスポーツ体験塾」は、運動が苦手な子どもたちが運動を好きになることを目的に実施している。とび箱や縄跳び、ボール投げなどの基本的な運動を、「させる」ではなく「支援する」指導を行っている。

「運動が苦手でも、コツさえ掴めばできるようになります」と頬を緩ませる三宅さん。保護者からは「子どもが体育の授業が好きになりました」という声が挙がっており、来年度も引き続き実施する予定だ。

■ **ウォーキングで桂川町の魅力を再発見**

来年度で15回目を迎える「ときめきウォーク in けいせん」は、例年10月に実施されている。参加者は、5・10・20 km コースに分かれて町内を歩き、風景を楽しむ。体力向上はもちろん、「歩くことで桂川町の魅力を再発見できる」と人気のイベントだ。

三宅さんは、「多くのボランティアスタッフの支援があり、スタッフ自身も楽しんでます。町内外問わずもっと多くの人に参加してもらいたいですね」と参加を呼びかけた。